

砂沼湖

(さぬまこ)



筑波山と砂沼湖の桜並木



春の桜祭り



地元団体による清掃活動

ため池の概要

ため池の所在地

茨城県下妻市

ため池の特徴

砂沼湖は、江戸時代前期(寛政3年)のため池で、下流の下妻市、常総市の大規模な農業地帯(水田2,011ha)の貴重な水源となっています。

湖周辺は茨城県西広域公園となっており、外周遊歩道に植えられた桜(約1300本)やアジサイなど多彩な花々が彩り、県西地域市民の憩いの場として親しまれています。

晴れた日には筑波山を眺望することができ、遊歩道の桜並木に浮かぶ雄大な筑波山の風景は圧巻です。

春の桜祭り、夏の花火大会、ウェイクボード(水上版スノーボード)の大会などの舞台として、また、首都圏有数のヘラブナ釣りのメッカとして広く親しまれています。一方、アヒルやカモなどの水鳥や絶滅危惧種であるコシガヤホシクサ等の多種多様な生物が生息・生育しています。

築造にかけた先人の苦悩の歴史を絶やさぬよう、現在も大切に維持管理されています。

「砂沼をきれいにする運動」として市民・少年団など地元の団体(市内の45団体38自治体)により、砂沼湖外周6kmを区分けして清掃活動が行われており、ため池の維持管理を通して人と人とのコミュニケーションも図られています。

関連情報

下妻市ホームページ

http://www.city.shimotsuma.lg.jp/kanko/sanuma_koen/index.html